

## 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「SBI米国小型成長株ファンド（愛称：グレート・スモール）」は2021年11月25日に第4期決算を行いました。

当ファンドは、SBI米国成長株・マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として、米国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）している小型株式等に投資を行い、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行いました。

ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

### 第4期末（2021年11月25日）

基準価額	19,218円
純資産総額	1,570百万円
第4期	
騰落率	20.5%
分配金（税込み）合計	0円

(注1) 騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注3) 当報告書における比率は、表示桁未満を四捨五入しております。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、右記ホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法>  
右記URLにアクセス⇒「ファンド情報」⇒「当該ファンド」を選択 ⇒ 「目論見書・定期レポート等」を選択 ⇒ 「運用報告書（全体版）」より該当の決算期を選択ください。

# SBI米国小型成長株ファンド （愛称：グレート・スモール）

追加型投信／海外／株式

## 交付運用報告書

第4期（決算日2021年11月25日）

作成対象期間（2021年5月26日～2021年11月25日）

 SBI Asset Management

SBIアセットマネジメント株式会社

東京都港区六本木1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間：営業日の9：00～17：00

ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧いただけます。

<http://www.sbiasset.com/jp/>

## 運用経過

## 基準価額等の推移

（2021年5月26日～2021年11月25日）



期 首：15,953円

期 末：19,218円（既払分配金（税込み）：0円）

騰 落 率：20.5%

（注1）当ファンドは、SBI米国成長株・マザーファンド受益証券への投資を通じて、米国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）している小型株式等に投資を行い、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また、適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載しておりません。

（注2）当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載しておりません。

## ○基準価額の主な変動要因

## 上昇要因

- ・ 景気拡張局面が続き企業業績が改善傾向となったこと。
- ・ FRB（米連邦準備制度理事会）のテーパリング（量的緩和の縮小）開始を巡り、9月下旬から今期末にかけて、債券利回りが上昇し米ドル高円安傾向となったこと。
- ・ 6月～9月ごろ、デルタ変異株の感染拡大により、米国国債利回りが低下し、低水準で推移する中、成長株の一部が買い戻されたこと。

## 下落要因

- ・ 6月～9月ごろ、デルタ変異株の感染拡大によりリオープンング銘柄（経済再開により恩恵を受ける景気循環株）が売られたこと。
- ・ 9月下旬からFRBのテーパリング開始観測が強まり米国国債利回りが再上昇したことから高バリュエーションの成長株が売られたこと。

## 1万口当たりの費用明細

（2021年5月26日～2021年11月25日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 ( 投 信 会 社 ) ( 販 売 会 社 ) ( 受 託 会 社 )	136 ( 77 ) ( 57 ) ( 2 )	0.790 (0.444) (0.333) (0.014)	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率  委託した資金の運用の対価  交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価  運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料 ( 株 式 )	15 ( 15 )	0.088 (0.088)	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税 ( 株 式 )	0 ( 0 )	0.001 (0.001)	(c)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用 ( 保 管 費 用 ) ( 監 査 費 用 ) ( 印 刷 ) ( そ の 他 )	73 ( 61 ) ( 4 ) ( 8 ) ( - )	0.422 (0.354) (0.021) (0.047) ( - )	(d)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数  保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用  監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用  開示資料等の作成・印刷費用等  信託事務の処理等に要するその他費用
(e) 実 績 報 酬	403	2.333	ファンドの運用実績に応じて委託会社が受け取る運用の対価
合 計	627	3.631	
期中の平均基準価額は、17,257円です。			

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 各項目ごとに円未満は四捨五入しております。

(注4) 売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、当ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

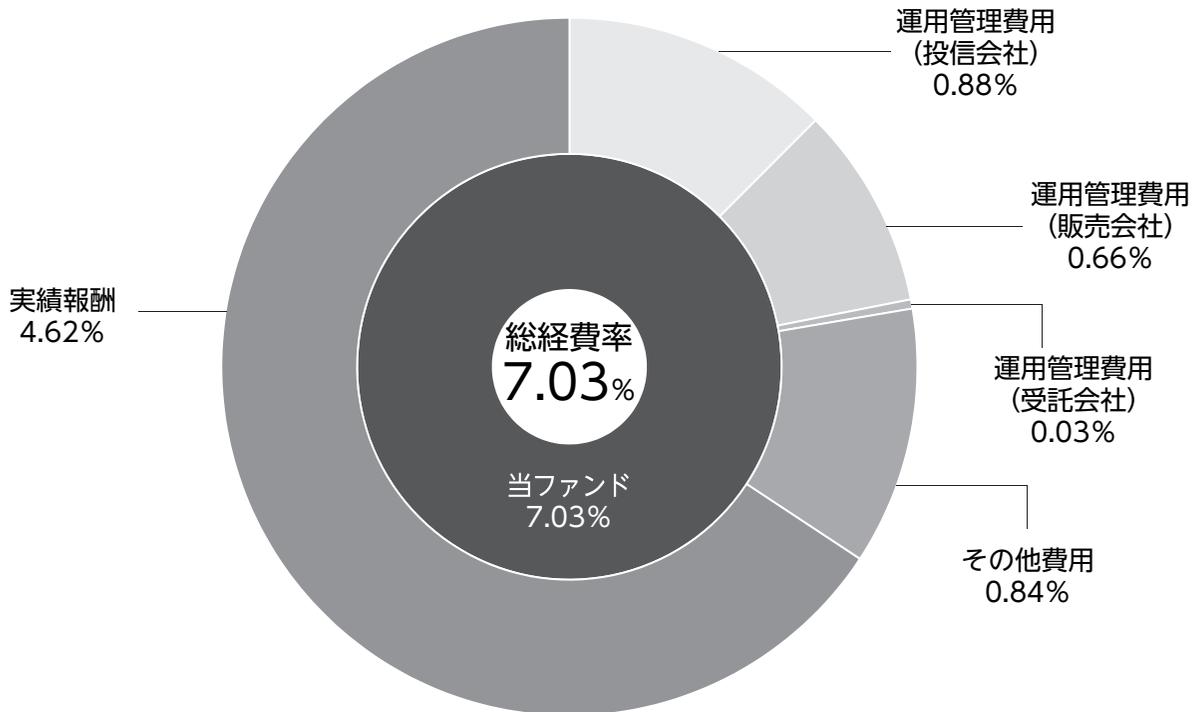
(注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注6) 当ファンドは実績報酬制を採用しております。なお、実績報酬は、決算期末に確定した1万口当たりの金額です。なお、解約時に確定した金額は考慮していません。

（参考情報）

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は7.03%です。



（注1）上記費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

（注2）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

（注3）各比率は、年率換算した値です。実績報酬は、各期末時点の運用実績に応じて委託会社が受け取る運用の対価ですが、他の費用と同様に年率換算しております。なお、四捨五入の関係により、合計が一致しない場合があります。

（注4）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移

（2016年11月25日～2021年11月25日）



(注1) 当ファンドについては設定日以降のデータが5年に満たないため、実在するデータ（2019年11月29日から2021年11月25日）のみの記載となっております。

(注2) 当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載しておりません。

		2019年11月29日 設定日	2020年11月25日 決算日	2021年11月25日 決算日
基準価額	(円)	10,000	13,395	19,218
期間分配金合計（税込み）	(円)	—	0	0
基準価額騰落率	(%)	—	34.0	43.5
純資産総額	(百万円)	854	1,265	1,570

(注1) 当ファンドは、SBI米国成長株・マザーファンド受益証券への投資を通じて、米国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）している小型株式等に投資を行い、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また、適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載しておりません。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注3) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2020年11月25日の騰落率は設定当初との比較です。

**投資環境**

（2021年5月26日～2021年11月25日）

※下記のコメントは、当ファンドのマザーファンドにおいて実質的な運用を行っている、ドリーハウス・キャピタル・マネジメントLLCからのコメントをSBIアセットマネジメントにて和訳・編集したものです。

当期は、米国株式市場は上昇しました。マクロ的な観点では、強い金融政策と財政政策の組み合わせ、新型コロナウイルスに対するワクチン接種が成功したことなどが景気回復を支援しました。強力な繰越消費需要、低い在庫水準などが景気回復を力強いものとし、急速な雇用市場の回復をもたらしました。結果として、インフレ、金利、金融政策が投資家に注目され、期末にかけて注目度を増しました。パウエルFRB（連邦準備制度理事会）議長は、インフレを一過性と表現しましたが、サプライチェーンと労働市場がコロナ禍の悪影響を受けるなか長期化しています。広範かつ異常な供給不足、大半の産業で見られる発注から納品までの期間の長期化、サプライチェーンの正常化の見通しが立たないことなど先例がないものです。求人者数は11百万人以上に上りますが、求職者数は8百万人と大きく下回っています。ほとんどの産業で労働者が確保できないでいます。失業保険加算措置が終了し、学校が再開する9月上旬に労働者が復帰すると予想していましたが、復帰が遅れています。さらに、デルタ株により新規感染者数が再び増加しました。米国の多くの地域でマスク着用義務、社会的距離規制が復活しました。新規感染の多くはワクチン未接種者に発生していますが、2021年上期に加速していた景気の伸びに悪影響を与えました。旅行やレジャー支出の減少、サプライチェーンの不具合、労働市場の逼迫、在宅勤務の解消の遅れに伴い経済成長は鈍化しました。当期に、小型グロース株、小型バリュー株の循環物色が発生しました。経済再開に伴い、2021年上期は景気循環株が買われていましたが、債券利回りが低下し、デルタ株の問題が7～9月に大きく材料視されると、巣ごもり銘柄（WFH銘柄）が一般消費財、資本財株をアウトパフォームしました。9月にデルタ株がピークアウトすると再び景気循環株がアウトパフォームしました。

## 当ファンドのポートフォリオ

（2021年5月26日～2021年11月25日）

## ＜当ファンド＞

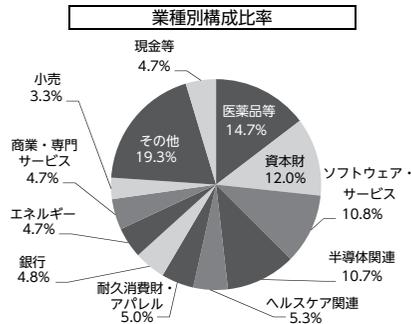
主要投資対象であるSBI米国成長株・マザーファンド受益証券を高位に組入れ、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行いました。

## ＜SBI米国成長株・マザーファンド＞

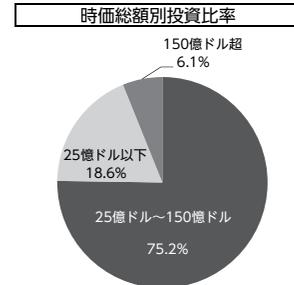
主として、米国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）している小型株式等に投資し、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行いました。

また、流動性と時価総額によるスクリーニングを行い、利益、売上の成長率及び株価のモメンタム（相場の勢い（強弱）や方向性を判断する指標の一つ）等に着目し、原則として80～120銘柄程度に分散投資し、運用いたしました。

なお、決算日時点のポートフォリオについては以下の通りとなっております。



※比率は、マザーファンドの純資産総額に対する割合です。  
※記載の比率は、四捨五入の関係で100%にならない場合があります。



※比率は、マザーファンドの組入株式評価額合計に対する割合です。

**当ファンドのベンチマークとの差異**

（2021年5月26日～2021年11月25日）

当ファンドは、SBI米国成長株・マザーファンド受益証券への投資を通じて、米国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）している小型株式等に投資し、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また、適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載しておりません。

**分配金**

（2021年5月26日～2021年11月25日）

当期は、当ファンドの収益分配方針に基づき、収益分配可能額を算出し、市況動向や基準価額等を考慮した結果、当期の収益分配は行わないことといたしました。

なお、収益分配にあてなかった利益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

**○分配原資の内訳**

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第4期
	2021年5月26日～ 2021年11月25日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	9,217

（注1）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注2）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の見通しと運用方針

### <当ファンド>

引き続き、SBI米国成長株・マザーファンド受益証券への投資を通じて、米国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）している小型株式等に投資し、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。

### <SBI米国成長株・マザーファンド>

当該投資信託の運用再委託先である、ドリーハウス社は、以下のようにコメントをしています。

#### 【投資行動及びポートフォリオの運用状況】

※下記のコメントは、当ファンドのマザーファンドの実質的な運用を行っている、ドリーハウス・キャピタル・マネジメントLLCからのコメントをSBIアセットマネジメントが和訳・編集したものです。

当期、当ファンドは米国小型グロース株式市場を代表するラッセル2000グロース指数にアウトパフォーマンスしました。テクノロジー、ヘルスケアセクターへの投資が最もプラスに寄与しましたが、不動産、公益を除くセクターもプラスに寄与しました。ファンドは一般消費財セクターの組入れを減らしバイオテクノロジーを含むヘルスケアセクターの組入れを増やしました。そのほか、資本財、素材セクターを減らしITセクターを組み増しました。これらの入れ替えは、上昇セクターが循環物色されることに備えて長期成長株と景気循環株の保有割合のバランスを取るために行いました。

#### 【米国株式市場の見通し及び投資戦略】

景気と企業利益に対する見通しは、景気拡張を支援する材料が複数あることから強気です。私共は、利益水準は史上最高益を更新していくと考えます。景気拡張期が続く中、株価は利益成長に従って動くと考えます。しかし、複数のリスクがあります。デルタ株は、過去数ヶ月経済成長を鈍化させ、あらたなオミクロン株の米国に対する影響は現状未知数です。サプライチェーンや労働市場への脅威は近年の先例のないものです。インフレは高止まりし、何年かぶりの高水準です。FRB（米連邦準備制度理事会）のテーパリング（量的緩和の縮小）、金融引き締めが株価の弱材料となっています。原油価格の上昇、中台関係の緊張、そのほかの様々な地政学的な懸念が投資家の不安心理を高めました。プラス材料として、需要サイドは依然強固です。繰越需要、低い在庫水準、収益増、記録的な純資産額等も含め私どもの楽観的な見方の背後には、景気はなお拡張期の初期段階にあるとの確信があります。新型コロナウイルスの大流行により発生した景気後退は昨年終わり、今景気拡張期の2年目に入ったばかりです。歴史的に、過去5回の米国の景気循環は5年間から10年間続いております。同じ景気循環はありませんが、今回の景気拡張は、多くの先例の無い特徴があるにも関わらず、力強く開始しました。米小型株式の株価は年初の高値から下がっていますが、企業利益は強固で最高益を更新しています。増益と株価の低下により、バリュエーションは魅力的となり、年末から2022年にかけて上昇余地があります。市場が足許のマクロの不確実性を価格に織込むなか、私共は、景気循環株、長期成長株双方に多くの投資の好機を見いだしています。

## お知らせ

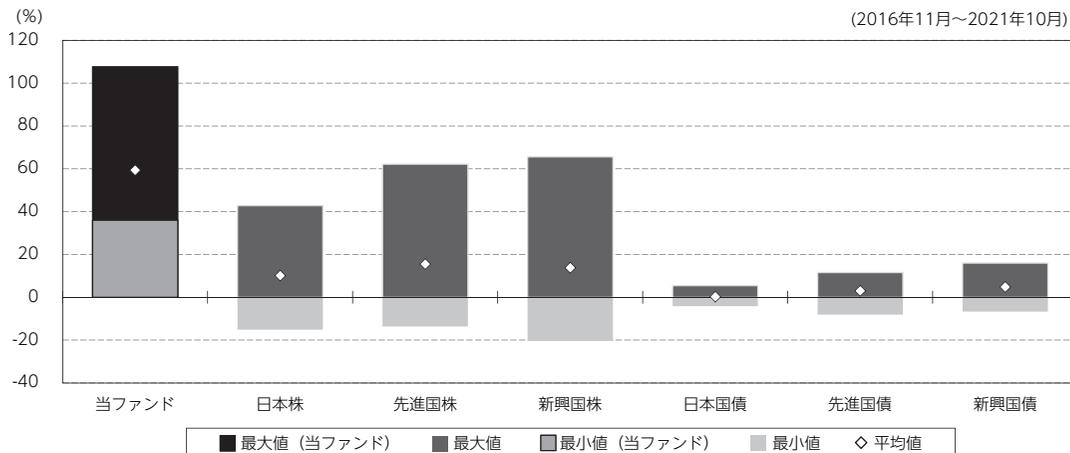
該当事項はありません。

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2029年11月26日（月）まで（設定日：2019年11月29日（金））	
運用方針	SBI米国成長株・マザーファンド受益証券への投資を通じて、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド（ベビーファンド）	SBI米国成長株・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	米国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）している小型株式等を主要投資対象とします。
運用方法	当ファンド（ベビーファンド）	SBI米国成長株・マザーファンド受益証券への投資を通じて、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。なお、マザーファンド受益証券の組入比率は、原則として高位を維持します。
	マザーファンド	原則として、米国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）している小型株式等に投資を行い、信託財産の中長期的な成長をめざします。
分配方針	年2回（5月と11月の各25日。休業日の場合は翌営業日）決算時に分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益及び売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、委託会社の判断により分配を行わないことがあります。なお、収益分配にあてず信託財産内に留保した利益については、運用の基本方針に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	

## （参考情報）

### ○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	107.7	42.8	62.2	65.6	5.5	11.6	16.0
最小値	36.0	△ 15.1	△ 13.6	△ 20.4	△ 4.1	△ 8.1	△ 6.6
平均値	59.4	10.1	15.5	13.8	0.3	3.0	4.8

(注1) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 2016年11月から2021年10月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注3) 当ファンドについては設定日以降の騰落率データが5年に満たないため、2020年11月末から2021年10月末のデータを基に算出しております。したがって、代表的な資産クラスとの比較対象期間が異なります。

(注4) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

### 《代表的な各資産クラスの指数》

日本株…Morningstar 日本株式指数

先進国株…Morningstar 先進国株式指数（除く日本）

新興国株…Morningstar 新興国株式指数

日本国債…Morningstar 日本国債指数

先進国債…Morningstar グローバル国債指数（除く日本）

新興国債…Morningstar 新興国ソブリン債指数

\*海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。各指数は、全て税引前利子・配当込み指数です。

\*各指数についての説明は、最終ページの「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

## 当ファンドのデータ

## 組入資産の内容

(2021年11月25日現在)

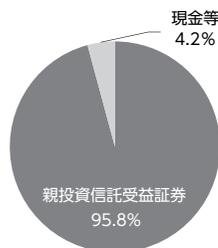
## ○組入上位ファンド

銘柄名	第4期末
SBI米国成長株・マザーファンド	% 95.8
組入銘柄数	1銘柄

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載されています。

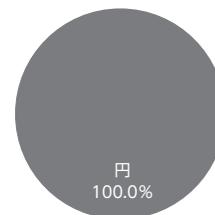
## ○資産別配分



## ○国別配分



## ○通貨別配分



(注1) 現金等には未収・未払項目などが含まれるため、マイナスとなる場合があります。

(注2) 資産別・国別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注3) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

## 純資産等

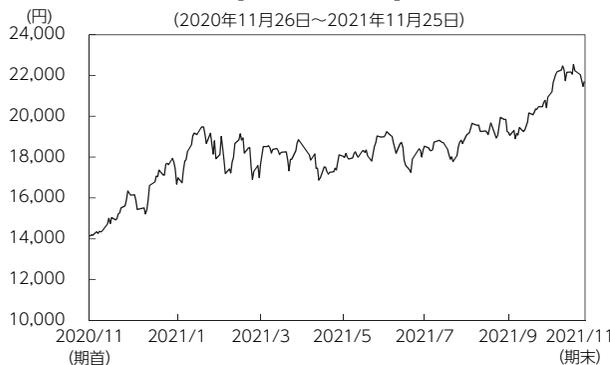
項目	第4期末
	2021年11月25日
純資産総額	1,570,659,642円
受益権総口数	817,300,251口
1万口当たり基準価額	19,218円

(注) 期中における追加設定元本額は79,545,948円、同解約元本額は266,494,743円です。

## 組入上位ファンドの概要

## SBI米国成長株・マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2020年11月26日～2021年11月25日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株式)	32円 ( 32)	0.180% (0.180)
(b) 有価証券取引税 (株式)	0 ( 0)	0.002 (0.002)
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	133 (133) ( -)	0.738 (0.738) ( -)
合計	165	0.920

平均基準価額は、17,992円です。

(注) 上記項目の概要につきましては、P2をご参照ください。

【組入上位10銘柄】

(2021年11月25日現在)

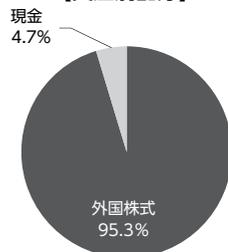
	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
					%
1	アンバレラ	半導体関連	米ドル	米国	2.4
2	シタイム	半導体関連	米ドル	米国	2.0
3	ブート・バーン・ホールディングス	小売	米ドル	米国	2.0
4	カリックス	ソフトウェア・サービス	米ドル	米国	1.8
5	スカイライン・チャンピオン	耐久消費財・アパレル	米ドル	米国	1.8
6	トライアンフ・バンコープ	銀行	米ドル	米国	1.8
7	バイコア	資本財	米ドル	米国	1.7
8	ラティスセミコンダクター	半導体関連	米ドル	米国	1.7
9	セルシウス・ホールディングス	食品・飲料・タバコ	米ドル	米国	1.7
10	クロックス	耐久消費財・アパレル	米ドル	米国	1.6
	組入銘柄数		104 銘柄		

(注1) 比率は、純資産総額に対する割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注3) 国(地域)につきましては発行国を表示しております。

【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注1) 基準価額の推移、組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別のデータは2021年11月25日現在のものです。

(注2) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注3) 国別配分につきましては発行国を表示しております。

## <代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

### <各指数の概要>

- 日本株：Morningstar 日本株式指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本に上場する株式で構成されています。
- 先進国株：Morningstar 先進国株式指数（除く日本）は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本を除く世界の先進国に上場する株式で構成されています。
- 新興国株：Morningstar 新興国株式指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、世界の新興国に上場する株式で構成されています。
- 日本国債：Morningstar 日本国債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本の国債で構成されています。
- 先進国債：Morningstar グローバル国債指数（除く日本）は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本を除く主要先進国の政府や政府系機関により発行された債券で構成されています。
- 新興国債：Morningstar 新興国ソブリン債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、エマージング諸国の政府や政府系機関により発行された米ドル建て債券で構成されています。

### <重要事項>

本ファンドは、Morningstar, Inc.、又はイボットソン・アソシエイツ・ジャパン株式会社を含むMorningstar, Inc.が支配する会社（これらの法人全てを総称して「Morningstarグループ」と言います）が組成、推薦、販売または宣伝するものではありません。Morningstarグループは、投資信託への一般的な投資の当否、特に本ファンドに投資することの当否、または本ファンドが投資対象とする市場の一般的な騰落率と連動するMorningstarのインデックス（以下「Morningstarインデックス」と言います）の能力について、本ファンドの受益者又は公衆に対し、明示又は黙示を問わず、いかなる表明保証も行いません。本ファンドとの関連においては、委託会社とMorningstarグループとの唯一の関係は、Morningstarのサービスマーク及びサービス名並びに特定のMorningstarインデックスの使用の許諾であり、Morningstarインデックスは、Morningstarグループが委託会社又は本ファンドとは無関係に判断、構成、算定しています。Morningstarグループは、Morningstarインデックスの判断、構成又は算定を行うにあたり、委託会社又は本ファンドの受益者のニーズを考慮する義務を負いません。Morningstarグループは、本ファンドの基準価額及び設定金額あるいは本ファンドの設定あるいは販売の時期の決定、または本ファンドの解約時の基準価額算出式の決定あるいは計算について責任を負わず、また関与しておりません。Morningstarグループは、本ファンドの運営管理、マーケティング又は売買取引に関連していかなる義務も責任も負いません。

Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータの正確性及び／又は完全性を保証せず、また、Morningstarグループは、その誤謬、脱漏、中断についていかなる責任も負いません。Morningstarグループは、委託会社、本ファンドの受益者又はユーザー、またはその他の人又は法人が、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータを使用して得る結果について、明示又は黙示を問わず、いかなる保証も行いません。Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータについて明示又は黙示の保証を行わず、また商品性あるいは特定目的又は使用への適合性に関する一切の保証を明確に否認します。上記のいずれも制限することなく、いかなる場合であれ、Morningstarグループは、特別損害、懲罰的損害、間接損害または結果損害（逸失利益を含む）について、例えこれらの損害の可能性を告知されていたとしても責任を負いません。